

水稻の7月上旬の巡回調査結果の概要

【東北信】

調査日 7月1日、2日、3日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信14ほ場、計29ほ場＞

1 葉いもち

- (1) 東信地域1ほ場及び北信地域2ほ場で発生がみられた。
- (2) 東信地域及び北信地域の発病株率は平年と比べやや高かった。

2 紋枯病

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

3 縞葉枯病

- (1) 東信地域1ほ場及び北信地域1ほ場で発生がみられた（写真1）。
- (2) 平均発病株率は、東信地域では平年と比べ低かったが、北信地域では平年と比べ高かった。



写真1 イネ縞葉枯病（東信地域）

4 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカ

ア 本田すくい取り調査（ネット20回振；以下同一）では、東信地域9ほ場、北信地域11ほ場で捕獲された。

イ 成虫の捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べやや多かった。

(2) セジロウンカ

ア 本田すくい取り調査では、北信地域1ほ場で捕獲された。

イ 北信地域の成虫の捕獲頭数は、平年と比べやや多かった。

(3) トビイロウンカ

本田すくい取り調査では、いずれも捕獲されなかった。

(4) ツマグロヨコバイ

ア 本田すくい取り調査では、東信地域2ほ場、北信地域6ほ場で捕獲された。

イ 成虫の捕獲頭数は、東信地域では平年と比べ高く、北信地域では平年並であった。

5 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）

- (1) 幼虫による食害は、東信地域6ほ場、北信地域3ほ場で発生がみられた。
- (2) 被害度は、東信地域及び北信地域では平年と比べやや高かった。なお、被害はほ場差が大きく、被害度15のほ場がみられた。

6 斑点米カメムシ類

(1) アカヒゲホソミドリカスミカメ

ア 本田すくい取り調査では、東信地域及び北信地域ともにアカヒゲホソミドリカスミカメが優占種であり、東信地域では8ほ場、北信地域では11ほ場で捕獲された。

イ 発生地点率は、東信地域では平年並、北信地域では平年と比べ高かった。

ウ 捕獲頭数は、東信地域では平年と比べやや少なく、北信地域では平年と比べ多かった。

(2) 斑点米カメムシ類全体

ア 発生地点率は、東信地域ではほぼ平年並、北信地域では平年と比べ高かった。

イ 捕獲頭数は、東信地域では平年と比べ少なく、北信地域では平年と比べ多かった。

7 イナゴ・クサキリ・ササキリ類

(1) イナゴ

ア 本田すくい取り調査では、東信地域7ほ場、北信地域11ほ場で捕獲された。

イ 発生地点率は、東信地域ではほぼ平年並、北信地域では平年と比べやや高かった。

ウ 捕獲頭数は、東信地域では平年と比べ少なく、北信地域では平年と比べ多かった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア 本田すくい取り調査では、東信地域9ほ場、北信地域8ほ場で捕獲された。

イ 発生地点率は、東信地域ではやや高く、北信地域では平年と比べ高かった。

ウ 捕獲頭数は、東信地域及び北信地域とも平年と比べ多かった。

8 フタオビコヤガの幼虫

本田すくい取り調査では、捕獲されなかった。

【中南信】

調査日 7月1日、3日、7日、8日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信15ほ場、中信17ほ場、計32ほ場＞

1 葉いもち

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

2 紋枯病

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

3 縞葉枯病

巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

4 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカ

ア 本田すくい取り調査（ネット20回振；以下同一）では、南信地域4ほ場、中信地域8ほ場で捕獲された。

イ 成虫の捕獲頭数は、南信地域で平年並、中信地域で平年と比べ少なかった。

ウ 中信地域に幼虫が多いほ場がみられた（イネ、ムギ輪作地域）。

(2) セジロウンカ及びトビイロウンカ

本田すくい取り調査では、いずれも捕獲されなかった。

(3) ツマグロヨコバイ

本田すくい取り調査では、捕獲されなかった。

5 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）

幼虫による食害は南信地域1ほ場でみられ、被害度は平年と比べ低かった。中信地域の定点調査では確認されなかった。

6 斑点米カメムシ類

- (1) 平均捕獲頭数は、南信地域で平年と比べ少なく、中信地域で平年並であった。
- (2) 捕獲地点率は、南信地域で平年と比べ低く、中信地域でやや高かった。
- (3) 発生種については、南信地域でアカヒゲホソミドリカスミカメとホソハリカメムシが各1ほ場でみられ、中信地域ではアカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシ、アカヒメヘリカメムシの順で確認ほ場数が多かった。なお、これらはいずれも成虫だった。
- (4) アカスジカスミカメについては、中信地域の1ほ場で成虫及び幼虫が確認された。なお、ほ場内には開花終期のスズメノテッポウがあった。

7 イナゴ、クサキリ・ササキリ類

(1) イナゴ

ア 本田すくい取り調査では、南信地域6ほ場、中信地域8ほ場で捕獲された。

イ 発生地点率は、南信地域で平年と比べ低く、中信地域で平年並だった。

ウ 平均捕獲頭数は、南信地域及び中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア 本田すくい取り調査では、南信地域3ほ場、中信地域8ほ場で捕獲された。

イ 発生地点率は、南信地域で平年と比べ低く、中信地域で平年並だった。

ウ 平均捕獲頭数は、南信地域及び中信地域ともに平年と比べ少なかった。

8 フタオビコヤガの幼虫

本田すくい取り調査では、南信地域の1ほ場で捕獲された（写真2）。



写真2 フタオビコヤガ幼虫（イネアオムシ）（南信地域）